

寺報

No.608

平成30年4月

蓮華寺
發行

御聖訓

父母に御孝養の意あらん人々は
法華經を贈り給うべし。教主釈尊
の父母の御孝養には法華經を贈り
給いて候。

『刑部左衛門尉女房御返事』



(解 説)

最近、当山でも「先祖や仏様をもう拝む事はしないので、檀家を辞めます」という方が、老若男女を問わず増えてきているそうです。

今後、こういう恩を忘れた自分勝手な振る舞いをする人達が増えていくと、この国は滅んでいくのではないかと懸念されます。

我々は、いきなり天より降ってきたり、また地より湧いてこの世に出現したわけではないのです。

誰にも両親がおり、またその先には必ず先祖がいるという事を忘れてしまったのでしょうか。

計算上では、我々が十代さかのぼれば、一〇二四人の先祖がおり、二十代で百万人、そして三十代で十億の先祖がいる事になるといわれています。

この計り知れない、大切な『命のつながり』の元に我々はこの世に存在しているのです。

日蓮大聖人は、両親と先祖が救われて初めて、今日の我々の幸せがあると教えています。

どうか法華經・お題目の信仰で、常に報恩感謝の気持ちを持ち続けていくようお願いいたします。

宗祖御降誕会

四月十三日(金)

午後一時より

場所：大本堂



*日蓮大聖人様のお誕生日の日です。
 *皆さんでお祝い致しますよう。
 *お供物も受け付けています。

日蓮大聖人がお生まれになった地は、今の千葉県鴨川市の安房小湊という小さな漁村で、お誕生日は貞応元年(一二二二)二月十六日、年代こそ違いますがお釈迦様がお亡くなりになられた二月十五日の翌日に当ります。

最高の教え『法華経』を、末法の世の我々に弘める為に、正にお生まれ変わりになったといえるでしょう。しかし、大聖人のお家柄については諸説があり、現在も定かではありません。幼名の『善日磨』からも、高貴な方の御子息でないかと推測されています。

源平の内乱で、この地に流された武士の子孫で、当時漁師を束ねていた『貫名重忠』の子ではないか、またもつと位の高い『後鳥羽上皇』の子ではないかともいわれています。

でも、大聖人は自らをこういつています。「日蓮は日本国東夷東条安房の国、海辺の旃陀羅が子なり。」

「日蓮今生には貧窮下賤の者と生まれ、旃陀羅が家より出たり(略)身は人身に以て畜身也。」

「日蓮は(略)東条の郷、片海の海人が子也。」
 「日蓮は中国、都の者にもあらず。辺国の將軍等の子息にもあらず。遠国の者、民の子にて候。」
 ほとんどが、漁師の子とか民の子としか記していません。

特にこの中の『旃陀羅』といえますのは、インドの身分制度『カースト制』で最も下の階級に位置付けられる屠殺などを仕事としていた階層です。
 つまり、この事は仏様の大慈悲を戴く為には、家柄や身分・老若男女・職業・学歴などは全く関係なく、ただ我々がいかに法華経・お題目の信仰をしていく事が大事なのであるかという事を、我々に大聖人がお示しにいられたといえるでしょう。

『提灯』の募集!

当山で「お正月」「鬼子母神大祭」「御会式」の時に下げます『提灯』(トロー)を募集します。
 作成価格は八千円、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ計一万円となります。

『位牌壇』募集中!

- ★『位牌壇』は分割が可能です。期間は三年間でお支払い回数をご相談に応じます。
- ★なお、現在は特席・一席・二席・三席があいいますので、場所はお寺にお尋ね下さい。
- ★下の席から上席に上がる場合は、その差額を納めて戴きます。
- ★当山では、毎朝必ず位牌堂の正面で「各家先祖代々の諸精霊」をお題目でご回向していますので、皆様の御先祖様や仏様は代々に渡り護られています。
- ★また御命日の日に旅行や諸用などでご不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、お経も唱えさせて戴きます。
- ★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。
- ★やむなくご親戚やご友人に譲渡する場合も、お寺には必ずご連絡下さい。

日常の中に仏世界

青森県宗務所主催

身延山団参のお知らせ

【身延山参拝と鎌倉・龍口寺参拝の旅】

青森県宗務所では、本年度宗門運動の一環として、身延山『身延山久遠寺』と日蓮大聖人ご法難の地『龍口寺』を参拝致します。

身延山では法主様の委嘱を受け、日蓮大聖人様の『御真骨』内拝、お墓の『御廟所』での奉仕活動、更に『思親閣』等にも参拝致します。

普段なかなか出来ない参拝旅行となりますので、檀信徒の皆様には是非とも参加戴きたく、此処にお願い申し上げます。

日程・平成三十年

七月二日(月)～四日(水)

旅費・九万八千円(二泊三日)

募集・一〇〇名(四月二十五日〆切)

*事務所にありますパンフレットをご覧の上、現金を添えてお早目にお申込み下さい。

詳細は事務所まで ☎776-5840

『靈神符』を持ちましょう！

最近の思いもよらない災害や事故、事件が多発して、皆さんの方々が巻き込まれています。

皆様も「私だけは大丈夫」というお考えはお止めになりまして、どうぞ素直に毎月、靈神符(お守り)を肌身離さずお持ちになります様お願い致します。

『靈断』

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。 ☎776-5840

【相談料は原則として三千元となります】

『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花・皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助に活用致します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

檀信徒研修会のお知らせ

☆四月二十一日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂(イス席になります)

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張って修行して下さい。



『聖典の読誦と唱題行』の次第

礼拝文	「謹みて礼拝し奉る」	【4ページ】
開経偈	「無上甚深微妙の法」	【6ページ】
読経	「方便第二」	【9ページ】
	「如来寿量品第十六」	【13ページ】
	「如来神力品第二十一」	【19ページ】
	「観世音菩薩」	
	「普門品第二十五」	【23ページ】
	「陀羅尼品第二十六」	【30ページ】
	「普賢菩薩」	
	「勸発品第二十八」	【35ページ】
懺悔文	「夫れ懺悔は治病の」	【47ページ】
御妙判	「祈禱鈔」	【67ページ】
御題目	「南無妙法蓮華經」	
宝塔品偈	「此經難持」	【72ページ】
回向文	(導師が唱えます)	
四誓願	「誓つて南無妙法蓮」	【76ページ】
三整唱	「なむめうほうれん」	【77ページ】
弾指合掌		以上

『朝のお勤め』のスズメ

当山では、毎朝午前六時半より『朝勤会』を執り行っています。

時間は、大堂々小本堂々位牌堂を回りまして、約一時間十分となっています。

聖典【お経本】を最初から順序よく読んでいきますので、どうぞ一緒に読み下さい。

初めは難しいでしょうが、繰り返す事で段々慣れてくると思いますので、一生懸命頑張ってみましょう。

また、朝勤会に毎月の『祈願・供養』を申込まれている方には、特に朝参りをお勧め致します。

唯、お寺にお願いするのだけではなく、少しでも時間を見つけてまして、自らが参拝する事が大事なのです。

そしてご自宅では中々出せない大きな声で、「法華経」「懺悔文」「お題目」を唱え、祈願・供養などの願い事が早く成就するようにと、集中してご祈念して下さい。

お勤めはイス席で行っています。

④朝の『祈願・供養』・一件、一ヶ月三千円です。

【青森工業高校】担ぎねぶた

『蓮華寺の蛙合戦』の展示！

平成二十八年度と二十九年度に、青森工業高校の担

ぎねぶたとして運行されました、当山を題材にしました『蛙合戦』のねぶたがこの度、中三デパートの筋向

かいに建設されましたマンション【ポレスター古川プレミアムレジデンス】の玄関に展示されています。

檀信徒の皆様も、中三や近くの魚菜センターなどにお買い物の際は、是非ご覧になって下さい。

間近で見るとねぶたも、きれいで見ごたえがあります。

『十三日のお勤め』

に参拝しましょう

毎月十三日午後一時より

④『十三日のお勤め』は、日蓮大聖人の大事な月ご命日の日です。

皆様も、日蓮大聖人への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目を唱えるようにお願い致します。

④『十三日のお勤め』のお経練習用に（カセットテープ・CD・お教本）を販売しています。

お寺からのお知らせ

当山では、次の主な仏事用品をお譲りしています。

*お塔婆

◎普通塔婆 (二千円)

◎普通幅広塔婆 (二千二百円)

◎五十回忌用塔婆 (二千七百円)

◎五十回忌幅広塔婆 (三千円)

・お寺・ご自宅で法事をする時、お塔婆をご希望の方は、その旨をお申付け下さい。

*お追膳

◎一膳 (五百円)

・お寺で法事・命日忌を行う場合ご用意します。
・位牌堂・永代供養堂にご命日にご用意します。

*日蓮宗用過去帳

◎大・三千五百円 ◎小・三千二百円 【書き代五千元】

*大曼荼羅御本尊

◎極小二千八百五十円から各種サイズがあります。
大きさはご相談下さい。【魂入れ代五千元】

*大荒行護符 (オブラート・一枚三百円)

*榊入大黒天 (分割可能)

◎一升榊 (手彫・五万円) (機械彫・三万円)

◎五合榊 (手彫・四万円) 【魂入・御幣代を含む】

*お経本

◎聖典 (八百円)

・ついでたちのお勤め・朝のお勤め・檀信徒研修会用
◎法華経要品の訓読【日本語読み】(千五百円)

・十三日のお勤め・秋彼岸会のお勤め用

*お経のテープとCD

◎聖典用のカセット (六百円)・CD (千円)

◎十三日用のカセット (六百円)・CD (千円)

*地鎮祭用の経石

◎地鎮祭で土地に埋める経石五個 (五千円)

*起工式 (柱立て) 用の棟札

◎大黒柱に掛ける木札 (三千円)

*御首題帳

◎参拝寺院のお題目・御朱印の記入帳 (千円)

*朝光水 (身延山の目薬・六百円)

*その他・お守り・お札等

◎お守り袋・チェーン・ペット用のお守り・お札等、色々取り揃えていますのでお申付け下さい。

四月の行事

一 日(日) 盛運祈願会 午後一時より

- ・ お守り〔靈神符〕の交換の日です。
- ・ お守りは、お勤めに参拝してお経・お題目を唱え感謝の心を込めて戴くようにしましょう。
- ・ 聖典(お教本)と数珠は必ずご持参下さい。



二 日(月) 甲子きのえね【大黒様の日】 朝のお勤め中

十三日(金) 日蓮大聖人の御命日 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- ・ 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・ 檀信徒の皆様は日蓮大聖人様の御報恩を忘れずに参拝し、一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(金) 宗祖御降誕会 午後一時より

注 日蓮大聖人のお誕生日です。

二十一日(土) 檀信徒研修会(唱題行) 午後七時より

注 自由に参加して下さい。

☆ 奉仕のお知らせ

三 日(火) 倉庫整理と境内地の大清掃 教宣部男女・・午前十時より

- * 今月は、大掃除を行いますので、沢山の方々のご奉仕をよろしくお願い致します。
- ◎ 奉仕部長・山田兼補
- ◎ 伝道部長・小野正春
- ◎ 教宣部長・杉淵昌三

☆ 行事のご案内

* 盛運祈願会

- ・ 毎月のお守り(靈神符)を必ず着体しましょう。
- ・ 一日午後一時からのお勤めに参拝して下さい。

* 十三日のお勤め

- ・ 日蓮大聖人様の大事な『月ご命日』の日です。
- ・ 午後一時からのお勤めに参拝して下さい。

* 朝のお勤め

- ・ 毎朝、午前六時半より(約一時間)
- ・ 聖典【お経本】と数珠を忘れずに!

☆ 剣守札(星)

星祭の剣守札(星)をお忘れの方は、まだ受付してありますので、お申込み下さい。



一体・・・二〇〇円